

# **DUO-FAST<sup>®</sup>**

## 取扱説明書

### コイル釘打機

# CNP50.1 CNP65.1



このたびは、コイル釘打機をお買い上げ頂きありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読み頂き、本機の性能を充分ご理解の上で、適切な取扱いと保守をして頂いていつまでも安全に能率良くお使いくださるようお願い致します。

尚、この取扱説明書は手元に大切に保管してください。

▶本機の取扱いにあたって、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法などについて充分ご理解の上、正しくご使用くださるようお願い致します。



**トータル・ファスニング株式会社**



## 警告

この表示は記載事項に従わないと人身事故につながる可能性がある場合を示します。



## 警告

- ご使用前に取扱説明書を必ず読むこと。
- 作業中は保護メガネを必ず使用すること。
- 安全装置が完全に作動するかどうか使用前に必ず点検すること。  
正常に作動しない場合は絶対に使用しないこと。
- 調整、点検、整備及び射出口付近に触れる時、使わない時は必ずエアホースを外すこと。
- ノーズ（射出口）を身体や他人に向けてないこと。
- 移動する際は必ずエアホースを外すこと。
- エアホースを接続する際は絶対にトリガ（引き金）に触れないこと。  
安全ヨークに触れたり、押さないこと。
- 圧縮空気以外の動力源は絶対に使用しないこと。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないこと。
- 異常を感じたら絶対に使用しないこと。

※この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

※本機の仕様は性能向上のため、予告なしに変更することがあります。

## 目次

部品の名称	2
仕様	3
使用釘の種類	3
用途	4
標準付属品	4
作業前の準備	5
コイル釘打機を安全に使用するために	6
使用方法	11
使用後の保守・点検	14

# 部品の名称



## 仕 様

	CNP50.1	CNP65.1
寸 法 (長さ)	310mm	318mm
( 幅 )	90mm	90mm
(高さ)	305mm	320mm
重 さ	2.1kg	2.2kg
使用釘長さ (コイル直釘)	27mm~50mm	27mm~65mm
使用釘頭径	5.8mm (max)	
装填本数	300本・325本	
使用空気圧	0.44~0.78Mpa (4.5~8.0kgf/cm <sup>2</sup> )	
使用オイル	タービン油	
エアホース内径 (長さ30m以内)	6.5mm以上	
発射方式 (トリガ交換方式)	単発方式/連発方式 (※標準は単発方式です)	

## 使用釘の種類

上記サイズ (長さ、頭径) のトータル・ファスニング (株) 製コイル直ネイルが使用できます。



## 警 告

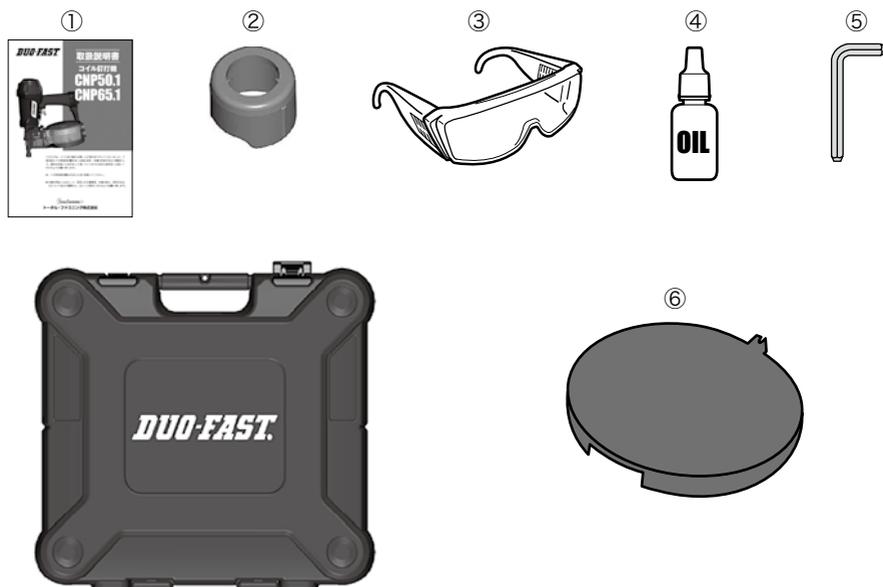
コイル釘打機の故障や事故を避けるため、仕様に合った釘をお使いください。

# 用 途

梱包・建築・板金・サイディング等

# 標準付属品

- ①取扱説明書
- ②先端ヨーク ..... 1個
- ③安全メガネ（保護メガネ） ..... 1個
- ④油サシ ..... 1本
- ⑤六角棒レンチ 3mm ..... 1本  
4mm ..... 1本  
5mm ..... 1本
- ⑥マガジンスペーサー



# 作業前の準備

コイル釘打機を安全に使用するために

## 警告

### ○エアホースの準備

このツールに使用できるエアホース内径は6.5mm以上で長さ30m以内でお使いください。

### ○エアコンプレッサ内のドレンを除去

水や油が内部に溜まると、錆の発生などで故障の原因になります。

ご使用前には、エアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きを緩めて、内部に溜まった水や油を除去してください。

乾燥した清浄な圧縮空気を使用してください。

### ○給油

付属の油サシにて作業の前後にエアプラグより、タービン油を2～3滴（0.1cc）注入してください。給油を怠るとコイル釘打機の寿命が短くなるばかりか、故障や事故の原因になりますので、必ず給油を行ってください。

### ○空気圧

空気圧の高低は釘の長さ、釘が打たれる対象物の木質によって異なります。

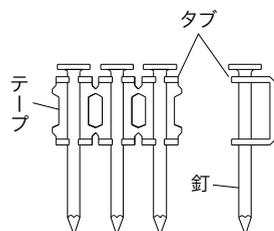
このコイル釘打機の使用圧力範囲は手元レギュレータゲージ圧で0.44～0.78MPa（4.5～8.0kgf/cm<sup>2</sup>）です。

対象物の木質により、この範囲内で調整してお使いください。

### ○釘の点検

輸送時等に万一釘がシートのタブから外れているような場合は、釘送りが不良になったり釘が飛び出す恐れがありますので、釘を装填する前に釘の頭部及び足元がシートのタブから外れていないか点検してください。

万一外れている場合でも、手作業で簡単に入れることができますので、図のような形にしてから使用してください。



# コイル釘打機を安全に使用するために

## ⚠ 警 告



### ①作業関係者以外近づけない。

作業する場合には、作業者以外の人を近づけないでください。

### ②作業環境に応じた防具を着用すること。

作業環境に応じて、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

### ③正しい服装で安定した姿勢で作業をする。

作業に適した服装で作業をしてください。又、無理な姿勢での作業は危険です。常に足場をかため、身体の安全を保って作業をしてください。



### ④作業に入る前に必ず始業点検を行う。

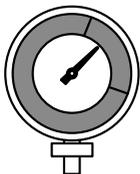
各部のナット、スクリューボルト、ストップリング等の締め金具が緩んでいないか、その他部品が外れたり傷んだりしていないかを点検してください。何れの部品も、それぞれ大切な役目を果たしております。外れたり、傷んでいると故障したり、思わぬ事故を起こしますので、充分注意して点検してください。



### ⑤給油及び圧力点検をする。

指定の圧力より低いと、コイル釘打機の機能を果たしません。又、指定の圧力を越えるとコイル釘打機の寿命を早めたり、危険が生じます。

給油は、作業の前後にコイル釘打機のエアプラグより、付属の油サシでタービン油を2～3滴（0.1cc）注入してください。



## 警告



### ⑥安全装置（安全ヨーク）が適確に作動するか点検し、作動しない場合は、使用しない。

まずエアホースを接続しない状態で作動してみる。

下記の現象が発生した場合は、使用しないでください。

- トリガ（引金）を引いただけで作動する。
- 安全ヨークを押しつけただけで作動する。

### ⑦必ず当社指定の釘を使用する。

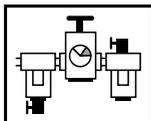
当社以外の釘を使用しますと、故障や事故の原因になりますから、必ず指定の釘を使用してください。

尚、保管状態の悪いものは、使わないようにしてください。

### ⑧エアもれや異常音が無いかを確認する。

エアホースを接続したら、まず各部にエアもれが無いかを確認してください。次に釘を打ち込んでください。釘が曲がったり、異常音が発生したりしないかを確認してください。

エアもれのある機械や、その他異常のある機械は絶対に使わないでください。



### ⑨動力源は必ず圧縮空気を使用する。

圧縮空気を動力源として使用し、酸素ボンベや高圧ガスボンベは絶対に使用してはいけません。使用するとコイル釘打機が爆発する恐れがあります。



### ⑩作業現場は整理、整頓をして特に足元の整理に注意を払う。

屋外作業で足場を使つての高所作業では、足場の安全性を確認してから作業を行ってください。又、作業をする場所の照明は十分に明るくしておいてください。



### ⑪作業中は常に安全メガネを着用する。

粉塵や、万一打ち損じた釘がはね返り、目に入ると危険ですから、作業をする本人だけでなく、周囲で作業をしている人も、必ず安全メガネを着用してください。

## ⚠ 警 告



### ⑫防音保護具を着用する。

作業をする場合、排気音や排気エアから耳を守るため作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。



### ⑬危険物の近くでは作業をしない。

釘打ち込み時に火花が飛散することがありますので、ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス類、接着剤等、引火あるいは爆発の恐れがある物質の近くでは、絶対に作業をしないでください。



### ⑭射出口には、絶対に手を近づけないこと。 また材料を手で支える時は充分注意する。

やむを得ず材料を手で支えなければならない時は、射出口付近から離し、かつ充分安全な場所を支えるようにしてください。



### ⑮エアホース接続時は必ず下記を厳守する。

- トリガ（引金）に触れない。
- 安全ヨーク（安全装置）及びノーズ（射出口）に触れない。
- 安全ヨーク（安全装置）及びノーズ（射出口）を押し付けない。
- ノーズ（射出口）を人体に向けない。



## ⚠ 警 告



### ⑯移動する際は必ずエアホースを外す。

エアホースを接続した状態でトリガ（引金）を引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をする、誤って発射することがあり、思いがけない事故につながりますので、移動する際はエアホースを外してください。

### ⑰コイル釘打機を使用しない時は必ずエアホースを外す。

### ⑱作業中断時は必ずエアホースを外す。

作業中の釘装填、調整及び釘つまりを除去する時、誤って釘を発射すると危険ですので、エアホースを外してください。

### ⑲射出口を向け合っでの作業はしない。

相手の姿が見える場合はもちろん、見えない場合でも両側から向かい合っでの同時打ちは大変危険です。

### ⑳機体の反動に注意する。

作業中はコイル釘打機の上方に顔などを近づけないようにする。一度打った釘、堅い木や節などを打つと機体が強く反動しますので、注意してください。

### ㉑安全装置（安全ヨーク）は絶対に改造したりしない。

### ㉒コイル釘打機の改造は厳禁。

### ㉓高所で作業をする場合、次のことを注意する。

- 足場を使って作業をする場合、足場の安全性を充分確認して、作業をしてください。
- エアホースは作業をする場所の近くに固定してください。  
ホースが引っ掛かったり、引っ張られたりすると反動で身体の安定を欠くことになり危険です。
- 屋根などの傾斜面での釘打作業は、下から上へ向かって前進しながら行ってください。後退しながら作業をすると、足を踏みはずす恐れがあります。



 **警 告****㊸直射日光はさける。**

コイル釘打機、エアコンプレッサ、エアホースなどを、長時間直射日光のあたる場所に放置しないでください。

**㊹水が掛かったまま放置しない。**

雨等で水分が掛かったまま放置しておくとうすの発生の原因となり安全装置が正しく動作しなくなる恐れがあり大変危険です。水が掛かった場合は水分をよく拭き取り、油等を塗り、うすの防止をしてください。

**㊺使用後の注意事項**

コイル釘打機を使用した後は、エアホースを外し、釘を抜き取り、エアプラグからタービン油（付属品）を2～3滴（0.1cc）注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

# 使用 方 法

ご使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。



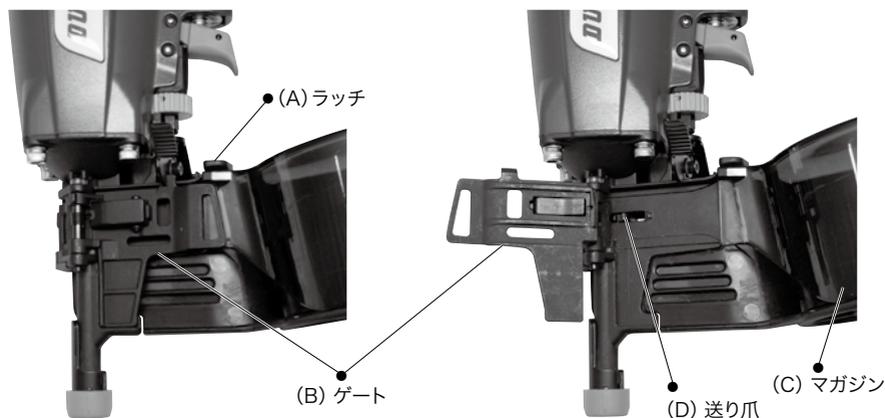
## 警 告

釘装填時はエアホースを必ず外す。

## 釘の装填

(A) ラッチを上を持ち上げると、(B) ゲートが左に開きます。次に (C) マガジンを右に開きます。シート釘のスコッチテープを完全に剥がし、マガジン内に装填し、コイルの一端をドライビングチャンバーの釘を打つ位置に送り込み、シート背面の最初の刻み穴を (D) 送り爪に噛み合せます。

釘帯が送り爪に完全に噛み合っていることを確認し、マガジンを閉めてからゲートを閉じれば、釘の装填は完了です。



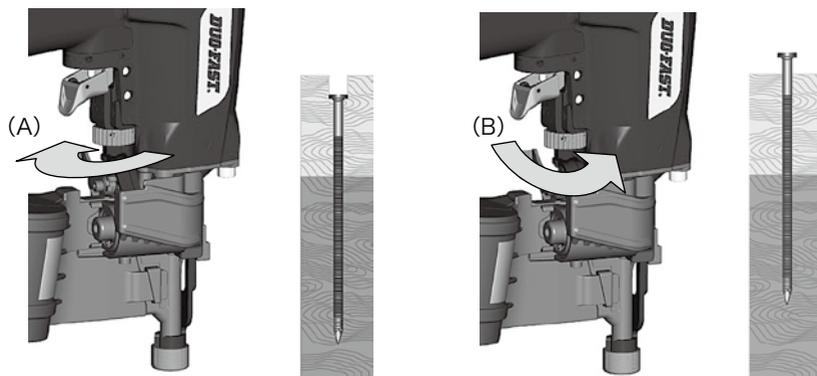
## 発射方法

このコイル釘打機は、連発方式トリガ、単発方式トリガの交換方式です。連発方式は、引き金を引いたまま、安全ヨークを連続的に押し付けるだけで発射しますから、スピードを要する作業に適しています。単発方式はまず打とうとする部材に安全ヨークを押し付けてから引き金を引く方法で、正確且つ安全な方法です。

## 打ち込み深さ調整

打ち込み深さの調整は安全ヨークのアジャスタで行います。

アジャスタを(A)時計回り方向に廻すと、打ち込みが深くなります。アジャスタを(B)逆時計回り方向に廻すと、打ち込みが浅くなります。調整の範囲は約7ミリです。



## 先端ヨークの交換

取り外しは、ドライバーで抜き取ってください。取り付けは、手で押し込むようにしてください。

## 使用済みシートの切り取り方

使用済みのシートはポケット釘打機の前方に出てきますから、作業の邪魔にならないように、必要に応じて切り取ってください。

シートの出口に近い所でシートを握り、すばやく上方へねじるようにして切り取ってください。前方へ引っ張るような切り方は避けてください。



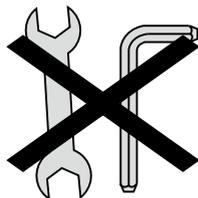
### 警告

シートを切り取る際はノーズ（射出口）及びトリガ（引金）に触れない。

## 排気の方向

この機体は排気方向を360°任意で変えることができます。

360°可変排気



# 使用後の保守・点検



## 警告

釘つまりの際、エアホースを必ず外す。

### ○釘つまりの直し方

釘つまりが起こったら、必ずエアホースを外してください。次にゲートを開け、マガジンから釘を取り去ってください。ドアを開けた状態のまま、コイル釘打機を逆にし、ノーズ先端からポンチを差し込み、ブレードを戻すようにハンマー等で叩いて、つまった釘を取り除きます。

### ○使用後の清掃

使用した後は、エアホースを外し、釘を抜き取り、エアプラグから付属品のタービン油を2～3滴（0.1 cc）注入してください。常温の乾燥した場所に保管してください。

### ○エアコンプレッサ等の水抜き

作業が終わったらエアコンプレッサの電源を切り、ドレンコックを開いて、タンク内の残圧によって溜まった水を抜いてください。特に湿気の多い季節は想像以上に水が溜まります。作業後は毎日、水抜きを行ってください。

### ○残り釘の保管

残った釘は釘ケースに納め、安全で常温の乾燥した場所に保管し、釘ケースの上に他の品物を乗せないようにしてください。

# お客様メモ

■本機お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号（No）を下欄にメモしておかれますと、修理等を依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号（No）
販売店名	TEL（                      ）			—

■お買い上げの商品のご相談は、下記の最寄り営業所までお気軽にお問い合わせください。

- 福島営業所 〒963-0204  
福島県郡山市土瓜1丁目71-2 コスモビル1階  
TEL 024-961-9871(代) FAX 024-961-3900
- 茨城営業所 〒310-0905  
茨城県水戸市石川1丁目3786-1  
TEL 029-252-1345(代) FAX 029-252-0281
- 関東営業所 〒272-0811  
千葉県市川市北方町4-2094 ウェルズ21北方パート1 C号室  
TEL 047-338-1121(代) FAX 047-338-1151
- 名古屋営業所 〒464-0850  
愛知県名古屋市千種区今池4丁目4-9 Park-front今池2階  
TEL 052-735-0690(代) FAX 052-745-1360



**トータル・ファスニング株式会社**

<http://www.total-f.co.jp>

営業本部 〒963-0204 福島県郡山市土瓜1丁目71-2 コスモビル1階  
TEL 024-961-9610(代) FAX 024-961-3900